

## Ⅱ 肝腫瘍の造影超音波

## 6. 造影超音波の定量的評価:特に分子標的治療薬の効果予測

杉本 勝俊/森安 史典 東京医科大学消化器内科

ソラフェニブ (Nexabar, Bayer Health Care Pharmaceutics-Onyx Pharmaceuticals) は,腫瘍の細胞増殖と血管新生を阻害する,切除不能な肝細胞がんを適応とした世界初の経口キナーゼ阻害剤である 1).2)。本剤は,欧米や日本を除くアジアにおける大規模第Ⅲ相試験 3).4) を経て、2009年5月よりわが国でも保険適用となった。しかし本剤には,わが国で発売された当初より,重篤な有害事象の報告が多くあり 5),かつ,その高額な薬価を考慮すると,可能なかぎり早期に治療効果予測を行い,無効の患者には肝動注化学療法等の別の治療法に変更することが,患者の予後に対し重要であると考えられる。

本稿では、第二世代超音波造影剤であるソナゾイド(第一三共社)を用いた造影超音波による、当科での早期治療効果予測の試みについて解説する。

## 対象と方法

2009年6月から2010年10月までに、 進行肝細胞がん治療目的でソラフェニブ を投与した症例のうち, 造影超音波で経 時的に腫瘍部ないし非腫瘍部の血流を 観察することが可能であった21症例 19結節を対象とした。ベースラインの患 者背景を表1に示す。2症例はソラフェ ニブを800mg/dayにて投与を開始し、 それ以外の17症例は400mg/davより 投与を開始した。なお、400 mg/dayよ り投与を開始した症例は、1週ごとに経 過観察を行い、問題がなければ200mg ずつ増量とした。有害事象の評価と対応 は、米国国立がん研究所有害事象共通 用語基準 [National Cancer Center Institute's Common Terminology

Criteria for Adverse Events version 3.0 (CTCAE v3.0)〕に従い、Grade1, 2 では減量を考慮し、Grade3以上では休薬や中止を考慮した。

造影超音波検査の撮像条件を表2に 示す。造影超音波検査は、ソラフェニ ブ投与前 (Dav 0), 投与後1週 (Dav 7). 投与後2週 (Day 14), および投与後4週 (Day 28) の計4回施行した。まず、B モードで全肝のスキャンを行い、標的病 変を決定した。標的病変の決定基準は, ①通常呼吸下で観察可能,②腫瘍の境 界が明瞭、③肝表から10cm以内、④長 径10mm以上の病変、とした。その後、 超音波造影剤を静注後、患者の呼吸を 停止せず3分間のdynamic imagingを 撮像し, 超音波診断装置内のハードディ スクにrow. liner dataとして画像を記 録した。なお、すべての検査は同一の肝 臓内科医が施行した。超音波診断装置 は「Aplio XG」(東芝社製)を用い、撮 像モードはPS-low. フレームレートは 10Hz (fps) とした。フォーカスは、標 的病変の下端に設定した。ゲイン. mechanical index (MI) 値は、症例ご

表1 Baseline characteristics of patients

Characteristic	No.	
Total	21	
Age	68.2±12.3	
Sex-Male : Female	18:3	
Cause of disease-HCV : HBV : Other	12:6:3	
EOCG performance status-0:1:2:3	9:10:1:1	
Stage- II : III : IV A: IV B	1:4:6:10	
Macroscopic vascular invasion-Absent : Present	11:10	
Extrahepatic invasion-Absent : Present	11:10	
Child-Pugh-A:B:C	18:3:0	
Targeted lesion in CEUS (tumor) -Liver : Other	17:2	
Targeted lesion in CEUS (control) -Liver : kidney	17:3	

±値は平均 ±SD を示す。

EOCG: Eastern Cooperative Oncology Group CEUS: Contrast-enhanced Ultrasonography

表2 定量的評価を目的とした造影超音波検査の撮像条件

X2 定量時間間で日前でひた起款起日次採量♥ガ取隊未干		
診断装置	Aplio XG (東芝社製)	
投 与 量	0.5mL/body	
造影モード	PS-low	
プローブ	PVT-375BT	
送受診周波数	3.75/7.5MHz	
ダイナミックレンジ	60 dB	
フレームレート	10Hz	
音圧 (mechanical index: MI)	< 0.2	
フォーカスポイント	シングルフォーカス	
フォーカスポイント位置	腫瘍下端	
時 相	静注後3分間	
呼吸	安静呼吸	